



ナミビア全土へ出荷するトウモロコシ粉や砂糖などの食糧貯蔵庫を視察する西牧大使

令和4年5月30日、西牧大使はナミビア最大手の食品加工会社ナミブ・ミルズを訪問しました。同社の現在の従業員数は2400人です。1981年の創業以来、トヨタ式のKAIZEN方式から学んで急成長してきた旨説明がありました。主食のメイズ(トウモロコシ粉)国内シェアは75%を占め、1日あたり50トンを生産、パスタは国内シェアの85%を占め、月あたり6.5トンを生産しています。鶏肉は1か月あたり5万5千羽が処理されています。また、昨今のロシアとウクライナ情勢を受けて、小麦の仕入れ価格が7割程度上昇しているものの、同社が急激な値上げを抑えることや、供給先を変更することで、消費者が大きな影響を受けないよう企業努力をしている旨、説明がありました。



製パン工場の生産ラインで説明を受ける西牧大使



鶏肉処理ラインを視察する西牧大使



視察後にナミブ・ミルズ経営陣と意見交換する西牧大使